

中井町環境審議会

開催日時 平成29年11月17日 10時00分～11時10分

開催場所 中井町役場 3階 3A会議室

出席委員 和田信雄、尾上文男、高野幹夫、小清水招男、加藤幸一郎、
田丸重彦、関猛彦、矢部晃

事務局 武井環境上下水道課長、井上工務班長、朝倉主査

1 開会

環境上下水道課長 本日はお忙しい中、中井町環境審議会にご出席いただきありがとうございます。

本日の会議では環境基本計画に位置付けますPDCAサイクルに基づき、計画に掲げる36の施策について担当課による1次評価、推進委員会による2次評価を踏まえ、皆様から総合的なご意見をいただくことで効率的な計画の推進を図っていきたいと考えています。

また、環境基本計画について、来年度で計画期間の10年が経過することから、これまでの点検・評価を参考に社会状況の変化や計画の推進状況を勘案し次期計画を策定していきたいと考えていますので、よろしく願います。

2 委嘱状の交付

環境上下水道課長 平成29年10月2日付けの中井町教育委員改選に伴い、教育委員会選出の委員が熊澤久氏から上原道由氏へ変更となりました。

本日は、上原委員欠席ですので委嘱状の交付は省略し、事務局にて別途交付します。

環境上下水道課長 なお、本日は委員12名の内8名にご出席を頂いており、中井町環境審議会規則第4条第2項に規定されています「委員の半数以上の出席」を満たしていることから審議会が成立することを報告いたします。

それでは議題に入りたいと思います。

審議会の規則により会長が議長となりますので、田丸会長に進行をお願いいたします。

3 議事

(1) 中井町環境基本計画の点検・評価について

事務局より、カテゴリ（環境像）ごとに資料に沿って説明。

【質疑】

●自然環境

尾上委員 施策番号10番「親水空間創造事業」について、河川の整備を行うのは県ですか。秦野の水無川などは散策ができるようにずいぶんきれいになっていますが。

事務局 整備は県です。町から県へ要望していますが、なかなか事業化されていません。

推進委員会の意見にあるように、整備が難しいのであれば、現在の河川環境を活用し、「水辺の生物観察会」などソフト面の推進を図っていければと考えています。

中村川でも、万年橋付近で一部、川に降りる階段が設置されている、草刈り等の管理がされていないが、活用していきたい。

尾上委員 河川の一部でも良いのでそうした活動をしていただければと思います。

田丸会長 2次評価でも意見が出されていますので、審議会の意見としても「次期計画に向けて見直す」こととしたいと思います。どう見直すかが大切ですので、事務局で検討をお願いします。

和田委員 中村川については、川沿いの竹は近年まめに手入れがされ、きれいになっているように感じます。

田丸会長 中村川の整備された階段は使われていますか。

事務局 出来た当初は水辺の動植物の観察会が行われたということも聞いていますが、現在は使われていないようです。

町としても、生物多様性調査等と連携して活用を考えていきたいと思えます。

田丸会長 今有るものを活用してソフト事業として新しいことを行うというのも良いのではないのでしょうか。

加藤委員 尾上委員より水無川の話がありましたが、町としても役場を中心とした拠点の形成を考えているエリアの中に中村川が流れていることから、富士見橋から下流川について、都市的空間の中の水と親しむ場所としていこうという考えが有ります。

都市空間をどうするか、また、河川の管理は県である事などを踏まえて、改めて検討していきたいと思えます。

田丸会長 新しい展開を求める意見が多いようですので、事務局、よろしく申し上げます。

田丸会長 施策番号5「生態系調査実施事業」について、調査が終了し希少種も多い。次のステップをどうしていくか、一般的に行政では「生物多様性保全計画」を策定したりするのですが、希少種が多いので公開するのも難しい、そういったことも考慮して、町ではどのように考えていますか。

事務局 計画や条例までは現在考えていません。28年度に調査が終了し本年度は結果の取りまとめと小学生を対象とした副読本を作成します。現在、県でも生物多様性の保全計画策定に向けた会議が立ち上がったところであり、こういったものの動向を見ながら対応していきます。

田丸会長 他の自治体では、外来種が入ってくることで生態系への影響もみられるが、調査の中でそういった意見はありますか。

事務局 今のところありません、今後成果の中で出てくることは有ると思います。

田丸会長 この件については、本年度作成する調査の成果を踏まえて対応して下さい。

和田委員 施策番号1「天然林保全事業」について、地権者の管理がされていない森林について、道路沿いの枝の伐採など管理の手法として良い知恵はないでしょうか。

田丸会長 平成25年度に県の自然保護奨励金がなくなっており、新たな仕組みづくりが必要です。和田委員の言うとおりに、何らかの管理はしなければいけません。新たな仕組みづくりの要望ということで次期計画への申し送り事項としてくださるよう事務局をお願いします。

●生活環境

田丸会長 施策番号15「工場排水調査事業」について、対象事業所の数と頻度はどの程度ですか。

事務局 11事業所で毎年3事業所を調査していますので、頻度は3～4年に1度となります。

田丸会長 評価シートの中で町内の特定施設の水質検査を行うとの表記があるが、対象事業所数や検査頻度の表記もお願いします。

事務局 分かりました。

関委員 二次評価の中で検査のスパンが長いとされているが、水質のリスクが高い所は法で規制され県の立ち入り検査等を実施しており、それ以外の部分を町でカバーしているという考えなので、必ずしも長いとは言えません。

和田委員 施策番号18「下水道整備事業」19「下水道接続促進事業」について、下水道整備は着実に推進していると思いますが、接続されていない家も多い様ですが、接続率はいかがでしょうか。

事務局 戸別の接続率で約75%です。これは、近隣市町に比べ低く、現在未接続者に通知や訪問により接続をお願いしているところです。
町としても、費用対効果や水環境の面から今後も接続を推進していきます。

●循環型社会

田丸会長 施策番号32「中井町環境マネジメントシステム認証取得支援事業」33「環境マネジメントシステム認証取得支援事業」34「中井町地球温暖化対策推進計画策定事業」について、推進委員会の意見として「中井町地球温暖化対策実行計画へ集約されたし。」とありますが、審議会としても、同じ意見としていきたいと思えます。

また、施策番号26「ごみの減量化対策事業」について、みなさんいかがでしょうか。

和田委員 町を歩いていて中井町は他の市町に比べて道路に捨てられているごみが少ないように思います。パトロールや監視カメラの効果とも感じますが、例えば監視カメラで不法投棄の犯人を特定したりしたことが有るのでしょうか。

事務局 カメラではないが、投棄物の中身から特定することはある。町で連絡して引き取りに来てもらうようにしているが、中には捨てていないという人もいて、それ以上の追跡はできない状況です。

和田委員 そういった働きかけをしている効果もあると思えます、引き続きお願いします。

●環境教育・学習

田丸会長 施策番号38「学校版環境マネジメントシステム実施事業」について、進捗が未実施で、推進委員会から「実際に行っている活動に合わせ、評価できるものとされたし。」との意見が出されています。

これについても、次期計画に向けた申し送り事項としたいと思えます。

●全体として

田丸会長 推進委員会より「次期計画の策定にあたっては、一定のルールを設け、事業の選定及び集約を図られたい。」という意見がされています。「平成29年度までの環境基本計画の総括を、新しい計画へしっかり申し送りして、次のステップを考えていただく。」ということで、審議会の意見としたいと思えますが、皆様、いかがでしょうか。

(一同異議なし)

田丸会長 ひと通り事業についての説明が終了しましたが、これまで出ました意見の取りまとめは会長、副会長に一任ということでよろしいでしょうか。

(一同異議なし)

田丸会長 では、議事録と町長への意見書を作成して皆様に送付するとともに、町長へ意見書を提出をしていきますので、よろしくお願ひします。

(2) 次期中井町環境基本計画の策定について

事務局より説明

推進委員会から「次期計画の策定にあたっては、一定のルールを設け、事業の選定及び集約を図りたい。」との意見が出されています。

これまで以下のような事業が、廃止となっており

〔 他の事業と併せて評価できる（事業が統合できる）、費用対効果や必要性の低い
事業が完了した、他の事業に振り分けられる 〕

こういった経緯を基に、次期計画の策定に向け事務局で一定のルールの基、事業の選定及び集約を図っていきたいと思います。

田丸会長 平成30年度に次期計画を策定するということです。
策定に向け、来年度の審議会を何回程度予定していますか。

事務局 年間5回で予定しています。

田丸会長 来年度まで委員の皆様の任期がありますので、よろしく申し上げます。
また、新規事業についても事務局からご提案くださいますようお願いいたします。

(3) 中井町地球温暖化対策実行計画について

事務局よりこれまでの経過を説明

7月5日 計画素案について環境審議会にて説明
審議会の意見を踏まえ計画案を作成

9月6日～25日 計画案のパブリックコメントを実施
パブリックコメントの結果意見なし

田丸会長 パブリックコメントによる意見がなかったということで、計画の策定となったことを委員会でも認識していきたいと思います。

なお、目標を定めて実行しなければ意味がありませんので、「実行計画を着実に進行し、目標達成できるよう進行管理することを要望します。」という意見書を提出したいと思います。

加藤委員 現実に、いつからどのように実行するのか、また目標の達成に向けた町民や事業者の取り組みにどう繋げていくのが重要となります。
町が指導的な立場として、取り組んできたいと思います。

田丸会長 進行管理をしっかりしてくださるよう要望します。

(4) その他

審議会を来年度5回、次回は6月の開催を予定しています。